

希望の子

シリーズ～預言者の声～

2022/7/17

イザヤの預言

- ウジヤ王時代の繁栄
 - 領土拡大・平和・経済的繁栄・軍備増強
- 繁栄がもたらした罪の指摘
 - 格差社会・知的傲慢・政治の腐敗
 - 神殿礼拝の形骸化・安息日や祭りの無意味化
 - 神の義が軽視され、神への畏れが失われた
- 不純物を除くための裁き
 - 滅ぼすためではなく教育のために裁かれる
- 「残りの者」から再興される
 - 「残りの者が帰って来る。ヤコブの残りの者が、力ある神に。」 10:21

イザヤ書11章1～5節

エッセイの株からひとつの芽が萌えいで／その根からひとつの若枝が育ち／その上に主の霊がとどまる。知恵と識別の霊／思慮と勇気の霊／主を知り、畏れ敬う霊。彼は主を畏れ敬う霊に満たされる。目に見えるところによって裁きを行わず／耳にするところによって弁護することはない。弱い人のために正当な裁きを行い／この地の貧しい人を公平に弁護する。その口の鞭をもって地を打ち／唇の勢いをもって逆らう者を死に至らせる。正義をその腰の帯とし／真実をその身に帯びる。

主の靈に満たされた裁き主

- メシヤはダビデの子孫から起こされる
 - 「エッサイの株(残りの者)からひとつの芽が萌えいで／その根からひとつの若枝が育ち…」
- 主の靈、特に「主を畏れ敬う靈」がとどまる
 - 「その上に主の靈がとどまる。知恵と識別の靈／思慮と勇気の靈／主を知り、畏れ敬う靈。彼は主を畏れ敬う靈に満たされる。」
- 正しい裁きを行う
 - 「弱い人のために正当な裁きを行い／この地の貧しい人を公平に弁護する。…正義をその腰の帯とし／真実をその身に帯びる。」

主の靈に満たされた裁き主

- メシヤはダビデの子孫から起こされた。
 - 「エッサイの株(残りの者)からひとりで／その根からひとつの若枝が育つ。」
- 主の靈、特に「主を畏れ敬う靈」が注ぎ込まれる。
 - 「その上に主の靈がとどまる。知恵と勇気の靈／主を知り、畏れ敬う靈に満たされる。」
- 正しい裁きを行う
 - 「弱い人のために正当な裁きを行って、貧しい人を公平に弁護する。…正帯とし／真実をその身に帯びる。」

イザヤの時代の問題を
修正し、主が願われる
正しい社会をもたらし

イザヤ書9章5～6節

ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。その名は、「驚くべき指導者、力ある神／永遠の父、平和の君」と唱えられる。ダビデの王座とその王国に権威は増し／平和は絶えることがない。王国は正義と恵みの業によって／今もそしてとこしえに、立てられ支えられる。万軍の主の熱意がこれを成し遂げる。

ダビデの王座に即く王

- メシヤは男の子である
 - 「ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。ひとりの男の子がわたしたちに与えられた」
- 偉大な指導者でありうる
 - 「その名は、『驚くべき指導者、力ある神／永遠の父、平和の君』と唱えられる」
- 平和の王国を立てあげる
 - 「ダビデの王座とその王国に権威は増し／平和は絶えることがない。王国は正義と恵みの業によって／今もそしてとこしえに、立てられ支えられる。」

ダビデの王座に即く王

- メシヤは男の子である
 - 「ひとりのみどりごがわたしたちのた。ひとりの男の子がわたしたちに
- 偉大な指導者でありる
 - 「その名は、『驚くべき指導者、力の父、平和の君』と唱えられる」
- 平和の王国を立てあげる
 - 「ダビデの王座とその王国に権威は絶えることがない。王国は正義よって／今もそしてとこしえに、立れる。」

偉大な指導力によって
ダビデの王国を再興し
平和をもたらす

イザヤ書53章2～12節

乾いた地に埋もれた根から生え出た若枝のように／
この人は主の前に育った。見るべき面影はなく／輝か
しい風格も、好ましい容姿もない。彼は軽蔑され、人々
に見捨てられ／多くの痛みを負い、病を知っている。
彼はわたしたちに顔を隠し／わたしたちは彼を軽蔑し、
無視していた。彼が担ったのはわたしたちの病／彼が
負ったのはわたしたちの痛みであったのに／わたした
ちは思っていた／神の手にかかり、打たれたから／彼
は苦しんでいるのだ、と。彼が刺し貫かれたのは／わ
たしたちの背きのためであり／彼が打ち砕かれたの
は／わたしたちの咎のためであった。

彼の受けた懲らしめによって／わたしたちに平和
が与えられ／彼の受けた傷によって、わたしたち
はいやされた。…捕らえられ、裁きを受けて、彼は
命を取られた。彼の時代の誰が思い巡らしたであ
ろうか／わたしの民の背きのゆえに、彼が神の手
にかかり／命ある者の地から断たれたことを。…
それゆえ、わたしは多くの人を彼の取り分とし／彼
は戦利品としておびただしい人を受け。彼が自ら
をなげうち、死んで／罪人のひとりに数えられたか
らだ。多くの人を過ちを担い／背いた者のために
執り成しをしたのは／この人であった。

身代わりに裁かれる裁き主

- 軽蔑され、見捨てられ、無視される
 - 「乾いた地に埋もれた根から生え出た若枝」> 恵まれない環境で育つ
- 打たれ、刺し貫かれ、打ち砕かれるが、彼自身のせいだと誤解される
 - 「わたしたちは思っていた／神の手にかかり、打たれたから／彼は苦しんでいるのだ、と。」
- 彼の苦しみはわたしたちのためであった
 - 「彼が担ったのはわたしたちの病／彼が負ったのはわたしたちの痛みであった…彼が刺し貫かれたのは／わたしたちの背きのためであり／彼が打ち砕かれたのは／わたしたちの咎のためであった。」

苦難を経て王となるメシア

- 彼の死によってわたしたちの罪は赦され、
(神との) 平和がもたらされる
 - 「彼の受けた懲らしめによって／わたしたちに
平和が与えられ／彼の受けた傷によって、わ
たしたちはいやされた。」
- 民のために自らをなげうったがゆえに、彼
は王となる
 - 「それゆえ、わたしは多くの人を彼の取り分とし
／彼は戦利品としておびただしい人を受け
る。彼が自らをなげうち、死んで／罪人のひとりに
数えられたからだ。」

イザヤによって描かれたメシア

イザヤの時代の
問題を修正し、
主が願われる正
しい社会をもた
らす(11章)

偉大な指導力に
よってダビデの
王国を再興し平
和をもたらす
(9章)

「残りの者」から起こされるが、
王室で育つわけではない

メシアであるのに蔑まれ、見捨てられる

私たちの身代わりとして打たれ、刺し貫かれ、死ぬ

その結果、わたしたちの罪は赦され、神との平和が与えられる

その功績により、神は彼を王とされる